

2016.10.28

博報堂生活総合研究所 生活者が選ぶ“2017年ヒット予想” & “2016年ヒット商品”ランキングを発表

2017年 ヒット予想は、1位「自動運転システム搭載車」2位「AI(人工知能)技術」3位「格安スマホ」…

生活者が求めるのは、“生活者支援系テクノロジー”キーワードは **【サンキュー・テック】**

博報堂生活総合研究所は、このたび、生活者が選ぶ“2017年ヒット予想”をまとめました。

本レポートは、今年、世の中で注目されたと思われる商品やサービス、コンテンツなどを生活者に提示し、「2017年以降、話題になりそう/人々の生活に普及・浸透していそう」と思うかを調査。「そう思う」「ややそう思う」という予想の強弱を反映するよう結果をポイント化したランキングとヒット予想の理由を分析し、“2017年ヒット予想”として傾向をまとめました(調査詳細は4ページを参照)。

“2017年 ヒット予想”のキーワードとして、博報堂生活総研は【サンキュー・テック】を掲げています。ランキングでは、生活者を「補助」「代行」「拡張」など多様に支援してくれる“生活者支援系テクノロジー”が上位に挙がっており、これからの時代に生活者が求めるテクノロジーをこのように名付けました。

なお、“2017年 ヒット予想”と合わせ、「2016年、ヒットした/話題になった」と思うものも調査しています。「リオ五輪」(1位)のほか、「AR(拡張現実)ゲーム(ポケモンGOなど)」(2位)、「君の名は。」(4位)、「シン・ゴジラ」(10位)が上位に挙がるなど、異次元のエンターテインメントがヒットした年と生活者に捉えられていることがわかりました。

“2017年 ヒット予想” ランキング(全体)

n=1,008

1	自動運転システム搭載車	69.0点
2	AI(人工知能)技術	68.0点
3	格安スマホ	67.0点
4	ドローン	66.0点
5	ネットスーパー	64.0点
6	ふるさと納税	62.0点
7	電気自動車	61.0点
8	インスタグラム	60.5点
8	訪日外国人観光客	60.5点
10	仮想現実(VR)	59.5点
11	USJ(ユニバーサル・スタジオ・ジャパン)	59.0点
12	暮らしの支援ロボット	58.0点
13	自動翻訳技術	57.5点
14	企業のポイントサービス	56.0点
15	イートインスペースのある店	55.5点
16	IoT(Internet of Things)	55.0点
17	空き家リノベーション	54.5点
17	民泊	54.5点
19	スーパーやコンビニのPB惣菜	54.0点
19	シニア向け家電	54.0点
21	シェアサービス	53.5点
22	電子書籍	53.0点
22	AR(拡張現実)ゲーム(ポケモンGOなど)	53.0点
24	TV番組の見逃し配信	52.5点
24	おしゃれ駅ナカ	52.5点
26	ワイヤレススピーカー	51.5点
26	写真加工アプリ	51.5点
26	電動アシスト自転車	51.5点
29	在宅勤務	51.0点
30	4Dシアター	50.5点

ランキング分析による3つの【サンキュー・テック】

「補助」してくれるテクノロジー

1位の「自動運転システム搭載車」への生活者の期待は高齢者などの運転時の事故防止が中心であり、人間のミスを「補助」することです。同様の「補助」が期待されているものとしては、介護領域での人材不足の解消につながる「暮らしの支援ロボット」(12位)やシニア層の家事負担の軽減につながる「シニア向け家電」(19位)などがあります。「電動アシスト自転車」(26位)は子供や重い荷物などを乗せての移動が大変な子育てママにとって、今や生活必需品になっています。

「代行」してくれるテクノロジー

災害地や危険な場所、これまで見られなかった魅力的な場所の映像を撮影できる「ドローン」(4位)や、日々の買い物が苦痛になっている高齢者や時間的余裕のない共働き・子育て層にとって買い物の革命的サービスともいえる「ネットスーパー」(5位)など、人間がやらずに済ませたい仕事を「代行」するのが上位に挙がっています。

「拡張」してくれるテクノロジー

「自動翻訳技術」(13位)は外国人と一定のコミュニケーションができるということで、人間の能力を「拡張」するテクノロジーとしてわかりやすいものだといえます。いろいろなものに組み込まれていくことが予想される「AI(人工知能)技術」(2位)や家電の遠隔操作などが可能になる「IoT(Internet of Things)」(16位)も人間の能力を「拡張」してくれるテクノロジーとして、今後ヒットすると予想されています。

付帯資料①.“2017年 ヒット予想” ランキング(性別／性年代別)

(性別)

【男女別の特徴】

男性では産業まわり、女性では生活まわりの事象が上位に

男性では1位の「AI(人工知能)技術」のほか、「IoT(Internet of Things)」(7位)、「暮らしの支援ロボット」(10位)など“第四次産業革命”として今後期待されている産業まわりの事象が上位に並んでいます。一方、女性では「ネットスーパー」(1位)の他、「ふるさと納税」(2位)、「企業のポイントサービス」(10位)と生活まわりの事象が上位にきています。

男性 n=504

1	AI(人工知能)技術	70.5点
2	自動運転システム搭載車	70.0点
3	格安スマホ	69.0点
4	仮想現実(VR)	67.5点
5	ドローン	65.0点
6	電気自動車	60.5点
7	IoT(Internet of Things)	59.5点
8	ネットスーパー	59.0点
9	自動翻訳技術	56.5点
10	暮らしの支援ロボット	56.0点
10	訪日外国人観光客	56.0点
10	ふるさと納税	56.0点

女性 n=504

1	ネットスーパー	69.0点
2	自動運転システム搭載車	68.0点
2	ふるさと納税	68.0点
4	ドローン	67.0点
5	インスタグラム	66.5点
6	AI(人工知能)技術	66.0点
7	格安スマホ	65.0点
8	訪日外国人観光客	64.5点
9	USJ(ユニバーサル・スタジオ・ジャパン)	64.0点
10	企業のポイントサービス	61.5点

(性年代別)

【男性年代別の特徴】

10代、20代では「仮想現実(VR)」が1位(全体ランキングでは10位)。新しい体験ができるエンターテインメントへの期待の高さを感じられます。一方、30代、40代では「格安スマホ」が1位となっており、子育てや住宅ローンなど日々の生活にお金がかかる世代の厳しさがうかがえます。

【女性年代別の特徴】

10代のランキングは「USJ(ユニバーサル・スタジオ・ジャパン)」が1位、「写真加工アプリ」「フリマアプリ」が3位、4位に続きます。また、10～30代では「インスタグラム」がいずれも3位以内です。写真で気軽にコミュニケーションや自己表現できることが支持されています。一方30代、50代では「ふるさと納税」が1位になっており、お得感と返礼品の魅力が理由になっています。

男性 15～19歳 n=84

1	仮想現実(VR)	75.5点
2	AI(人工知能)技術	75.0点
3	自動運転システム搭載車	72.0点
4	ドローン	67.5点
5	格安スマホ	65.5点
6	ネットスーパー	64.5点
7	電気自動車	63.0点
7	インスタグラム	63.0点
7	USJ(ユニバーサル・スタジオ・ジャパン)	63.0点
10	AR(拡張現実)ゲーム(ポケモンGOなど)	62.5点

女性 15～19歳 n=84

1	USJ(ユニバーサル・スタジオ・ジャパン)	86.5点
2	インスタグラム	82.0点
3	写真加工アプリ	81.0点
4	フリマアプリ	71.0点
5	ワイヤレススピーカー	69.5点
5	AI(人工知能)技術	69.5点
7	ドローン	68.0点
8	ふるさと納税	66.5点
9	自動運転システム搭載車	66.0点
9	格安スマホ	66.0点

男性 20～29歳 n=84

1	仮想現実(VR)	75.5点
2	AI(人工知能)技術	71.0点
3	自動運転システム搭載車	70.0点
4	格安スマホ	65.0点
4	ドローン	65.0点
6	電気自動車	64.5点
7	IoT(Internet of Things)	61.5点
8	電子書籍	59.5点
9	AR(拡張現実)ゲーム(ポケモンGOなど)	57.5点
10	自動翻訳技術	57.0点
10	インスタグラム	57.0点

女性 20～29歳 n=84

1	自動運転システム搭載車	76.0点
2	ネットスーパー	69.0点
3	ドローン	68.0点
3	インスタグラム	68.0点
5	USJ(ユニバーサル・スタジオ・ジャパン)	66.5点
5	ふるさと納税	66.5点
7	仮想現実(VR)	66.0点
7	AI(人工知能)技術	66.0点
9	電気自動車	65.0点
10	4Dシアター	64.5点

(性年代別 - 続き -)

男性 30~39歳

n=84

1	格安スマホ	72.0点
2	仮想現実(VR)	67.5点
3	AI(人工知能)技術	65.5点
4	自動運転システム搭載車	63.5点
5	ふるさと納税	57.0点
6	自動翻訳技術	55.5点
7	訪日外国人観光客	55.0点
8	ドローン	54.0点
9	シニア向け家電	53.0点
9	電気自動車	53.0点
9	AR(拡張現実)ゲーム(ポケモンGOなど)	53.0点

女性 30~39歳

n=84

1	ふるさと納税	69.0点
2	ネットスーパー	67.5点
3	インスタグラム	64.5点
4	スーパーやコンビニのPB惣菜	62.0点
4	訪日外国人観光客	62.0点
6	格安スマホ	61.5点
7	ドローン	60.5点
7	シェアサービス	60.5点
9	空き家リノベーション	58.5点
10	AI(人工知能)技術	57.5点

男性 40~49歳

n=84

1	格安スマホ	72.5点
2	自動運転システム搭載車	69.5点
3	ドローン	68.5点
4	仮想現実(VR)	66.0点
4	AI(人工知能)技術	66.0点
6	IoT(Internet of Things)	59.5点
7	民泊	56.5点
8	電気自動車	56.0点
8	インスタグラム	56.0点
8	ふるさと納税	56.0点

女性 40~49歳

n=84

1	ネットスーパー	69.0点
2	AI(人工知能)技術	66.0点
3	ドローン	65.5点
3	ふるさと納税	65.5点
5	自動運転システム搭載車	64.5点
6	格安スマホ	62.5点
7	スーパーやコンビニのPB惣菜	62.0点
8	空き家リノベーション	60.5点
8	写真加工アプリ	60.5点
8	訪日外国人観光客	60.5点

男性 50~59歳

n=84

1	自動運転システム搭載車	69.5点
2	AI(人工知能)技術	67.5点
3	格安スマホ	64.5点
4	ネットスーパー	62.5点
5	仮想現実(VR)	62.0点
6	ドローン	60.0点
7	IoT(Internet of Things)	59.5点
8	電気自動車	57.5点
9	暮らしの支援ロボット	56.0点
9	訪日外国人観光客	56.0点

女性 50~59歳

n=84

1	ふるさと納税	69.5点
2	ネットスーパー	68.5点
3	自動運転システム搭載車	68.0点
4	ドローン	67.5点
5	空き家リノベーション	66.5点
5	格安スマホ	66.5点
5	AI(人工知能)技術	66.5点
8	暮らしの支援ロボット	64.5点
8	訪日外国人観光客	64.5点
10	シニア向け家電	63.5点

男性 60~69歳

n=84

1	AI(人工知能)技術	77.5点
2	ドローン	75.5点
3	自動運転システム搭載車	75.0点
4	格安スマホ	74.0点
5	電気自動車	68.5点
5	自動翻訳技術	68.5点
7	暮らしの支援ロボット	68.0点
8	ネットスーパー	65.5点
8	訪日外国人観光客	65.5点
10	IoT(Internet of Things)	62.5点

女性 60~69歳

n=84

1	ネットスーパー	80.0点
2	自動運転システム搭載車	77.0点
3	イートインスペースのある店	72.5点
4	格安スマホ	72.0点
4	訪日外国人観光客	72.0点
6	ドローン	71.5点
6	おしゃれ駅ナカ	71.5点
6	ふるさと納税	71.5点
9	スーパーやコンビニのPB惣菜	71.0点
10	暮らしの支援ロボット	70.0点

付帯資料②.“2016年 ヒット商品” ランキング(全体)

博報堂生活総合研究所は、生活者が選ぶ“2016年 ヒット商品”についても下記のようにまとめました。

参考: “2016年 ヒット商品” ランキング(全体)

n=1,008

1	リオ五輪	82.5点
2	AR(拡張現実)ゲーム(ポケモンGOなど)	77.0点
3	ドローン	75.5点
4	君の名は。	74.0点
5	インスタグラム	67.0点
6	訪日外国人観光客	65.0点
6	ふるさと納税	65.0点
8	格安スマホ	63.5点
9	USJ(ユニバーサル・スタジオ・ジャパン)	62.0点
10	シン・ゴジラ	61.5点
11	自動運転システム搭載車	60.5点
12	AI(人工知能)技術	59.5点
13	写真加工アプリ	57.0点
14	民泊	55.5点
14	笑点	55.5点
16	家庭向け電力小売り自由化	53.5点
17	仮想現実(VR)	53.0点
17	伊勢志摩	53.0点
19	ネットスーパー	52.5点
20	スターウォーズ	52.0点
21	フルーツ入りゲラノーラ	51.0点
21	おそ松さん	51.0点
23	フリマアプリ	49.5点
23	新幹線ネットワークの拡充	49.5点
25	豪華観光列車	49.0点
25	企業のポイントサービス	49.0点
27	電気自動車	48.5点
28	電子書籍	47.5点
28	シェアサービス	47.5点
30	スポーツクライミング	46.5点

■「リオ五輪」が東京への期待も重なり第1位

“日本人選手のメダルラッシュ”、“印象に残った選手が多かった”、“2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催への期待”といった理由から「リオ五輪」への注目が集まりました。

■異次元のエンターテインメントがヒットした年

「AR(拡張現実)ゲーム(ポケモンGOなど)」(2位)、「USJ(ユニバーサル・スタジオ・ジャパン)」(9位)、「シン・ゴジラ」(10位)、「仮想現実(VR)」(17位)など、これまでにない異次元のエンターテインメントが続々登場した1年でした。4位の「君の名は。」は美しく緻密な情景描写で、幅広い年代に浸透し、かつリピーターも多いという別の意味で異次元の大ヒットとなっています。

■自分で稼げる新しい商品・仕組みが人気

「ふるさと納税」(6位)、「格安スマホ」(8位)、「民泊」(14位)、「家庭向け電力小売り自由化」(16位)、「フリマアプリ」(23位)、「企業のポイントサービス」(25位)、「シェアサービス」(28位)は、生活のいろいろな領域でのコストダウンにつながる商品・仕組みだといえます。いずれも商品・仕組みへの理解や自分が得する利用法などの研究が若干必要ですが、伸び悩む所得に対して生活者が“生活の質”は落とすことなくコストダウンの方策を模索しているのではないでしょう。

調査概要

調査概要	新聞・雑誌・Webなどから、今年、生活者が関心を示した、世の中で注目されたとされる商品やサービス、コンテンツ、出来事など約400事例を収集。うち、生活者への事前調査などで絞り込んだ80項目について調査。
調査地域	首都圏、京阪神圏
調査手法	博報堂Hi-Panel調査(インターネット調査)
調査対象	15~69歳の男女 1,008人(有効回収数)
調査時期	2016年9月30日(金)~10月5日(水)
企画分析	博報堂生活総合研究所
実査集計	株式会社東京サーベイ・リサーチ

質問文

【A】「今年(2016年)、ヒットした/話題になった」と思いますか。

【B】「来年(2017年)以降、話題になりそう/人々の生活に普及・浸透していそう」だと思いますか。

商品やサービスなど調査で提示した80項目それぞれについて、【A】【B】の2つの質問に「そう思う」「ややそう思う」「そう思わない」の3段階で回答してもらった。「そう思う」「ややそう思う」という回答には理由もあわせて聴取した。

[ポイントの算出法]

【A】【B】の2つの質問に対する「そう思う」「ややそう思う」「そう思わない」の回答に、それぞれ100点、50点、0点を割り振って平均得点を算出した。満点は100点